

令和8年度西成区被保護者就労準備支援事業（西成版サービスハブ構築・運営事業）業務委託
公募型プロポーザル方式による委託事業者の選定結果について

1 案件名称

令和8年度西成区被保護者就労準備支援事業（西成版サービスハブ構築・運営事業）業務委託
（契約期間：令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

2 選定した委託候補事業者

ヨリドコ西成連合体

代表事業者 特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構

3 公募期間

令和8年1月16日から令和8年2月16日まで

4 選定会議の委員による審査結果

(1) 選定委員名簿（敬称略、五十音順）

委員氏名	役職等
五石 敬路	大阪公立大学大学院 都市経営研究科 教授
杉田 菜穂	大阪公立大学大学院 経済学研究科 教授
丸山 里美	京都大学大学院 文学研究科 准教授

(2) 選定会議の開催日

令和8年3月2日

(3) 審査基準

審査項目	審査内容	配点
事業目的及び事業内容の理解度	・事業内容について趣旨をよく理解し、的確な考え方が示されている。 ・生活保護等を取り巻く現況をよく把握し分析している。	10点
業務遂行にあたっての総合的な視点・姿勢	企画提案内容の遂行において、事業の趣旨・目的を理解した上で、本業務を実施するにふさわしい考え方や取り組み姿勢が示されている。	15点
実施方法、工夫点等	・課題全般に対する手法の的確性、実現性、創造性が示されている。 ・業務全般の計画性、実施手順の妥当性が示されている。	20点
地域社会のニーズ・資源と利用者とのマッチングの実施方法	地域社会のニーズ・資源を的確に把握するとともに、それを利用者にもマッチングする際における課題を認識し、それに対する対応策を検討できている。	15点
ケースワーカー等との連携・支援の質の向上につながる手法等	本事業のみを切り出して考えるのではなく、生活保護受給者への支援の質の向上に資する視点を持って、ケースワーカー等と連携していくための手法が説明されている。	15点

本業務の実施能力について（実施体制及び実施スケジュール、類似業務の実績）	本業務の実施体制やスケジュール管理・進行について、適切な説明がされている。また、本業務の遂行能力を推し測ることが出来る他都市又は本市での受託業務の実績がある。	15点
業務遂行にあたっての費用積算等の妥当性	事業の内容に関して適切な人件費や経費が見込まれている。	10点
合 計		100点

(4) 審査対象事業者

ヨリドコ西成連合体

代表事業者 特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構

(5) 審査結果（選定委員3名の評価点の合計点 300点満点）

審査項目	評価点
事業目的及び事業内容の理解度	24点
業務遂行にあたっての総合的な視点・姿勢	35点
実施方法、工夫点等	51点
地域社会のニーズ・資源と利用者とのマッチングの実施方法	35点
ケースワーカー等との連携・支援の質の向上につながる手法等	35点
本業務の実施能力について （実施体制及び実施スケジュール、類似業務の実績）	35点
業務遂行にあたっての費用積算等の妥当性	23点
合 計	238点